

会 長 演 説

第 57 期年度通常総会に於ける演説

造船協会々長 丹 羽 周 夫

造船協会第 57 期年度通常総会を開催するに当りまして、茲に会員諸君にお目にかかります事は私の誠に欣快に存ずる処であります。

造船工業は我国最重要の基幹産業である事は申すまでもありませんが、最近の我国造船業の建造船舶の量の推移を見ますと、昭和 24 年に於ける起工 39 万総噸から漸次上昇致しまして、昭和 27 年の起工 64 万総噸を最高とし昨、昭和 28 年は 48 万総噸の起工をしましたが本年は第十次船の決定遅延と、上半期の輸出船契約不振の為に先月末迄の起工量は 13 万噸位であると思ひます。

然し乍ら最近第十次計画造船も決定し、此の月に入り殆んど全部が起工されますので之により 15 万 5 千総噸を加えます。更に、本年初夏の頃から輸出船の契約は急に活発になり、只今迄に契約済のものは合計 584,500 重量噸に上つております。猶この他にも非常に有望視される輸出船は少くとも 226,000 DW 噸余りあります。

若し之等が全部契約されますと輸出船だけで 800,000 DW 噸位に達するのでありまして、我国造船業界の為に誠に慶賀に堪えない次第であります。

吾が国の造船能力は主として現有労働能力から見まして約 60 万総噸であります。造船業の特徴と致しまして受託が中々に timely に行かない為め、年間工事量が平均化しない事であります。加之国内船の建造は現在の海運界の不況と金融難との為め、どうしても所謂計画造船にたよらなければなりませんので、此の受託の平均化は中々に望み難いのであります。

又国内経済情勢の為に計画造船の工事量もせいぜい年間 20 万総噸内外しか望めない今日、吾々は何うしても輸出船の受託に力を注ぐ以外にないのであります。

然るに吾が国の船価は特別の助成措置或は対物価政策を講じない限り、歐洲各国のそれに比し高いのであります。

船価低減対策は色々の要素を含んでおりますが、船価の約 6 割以上を占める購入品及び素材の価格、特に主要材料たる鋼材の価格が例えば英国の三に対し我国は五の割合で高いのであります。其の他の船舶構成品、即ち船体以外の主機械、補助機械等も鉄鋼を主要材料とするものが多く、我国鉄鋼等の金属材料の価格の高いことは、我国造船業に取つて根本的の問題であります。之の解決は独り造船業関係者のみのよくする処ではありません。

一方我国造船業界の技術的水準と言う点に於きましては私は今日依然として世界の水準以下ではないと確信するものであります。特に船体の電気溶接構造の取入れ、推進抵抗の実験研究による改善、船体強度或は動揺の実船実験、等々の貴重なる研究が着々成果を挙げつつある事は、世界各国に伍し我国の誇とする処であります。

又造機関係に於きましても優秀なる機関の独創、各種機械の製造加工設備の改善近代化或は各種機械の性能の基本的実験等が着々行われつつある事も、誠に心を強くする次第であります。然し乍ら比較的中小企業により製作されつつある補機類、或は小部分品等に於て依然間々苦情を聞く事のある事を遺憾に存ずる次第でありまして、関連産業製品の品質向上は我国造船界の急務であります。

兎も角前述の通り我国造船技術は概ね世界の水準を行くものとして、意を強くするものであります。之には我国学界及び業界の諸先輩のたゆまざる研究励学と我国業界諸先輩の有効適切なる企業努力との賜物と、深く敬意を表する次第であります。又現代を担う吾々学界及び業界の現役は、一層奮励努力以て益々我国造船事業の発展を期せなければならぬと思ひます。此の意味に於きまして今総会に伴う講演会に於ける幾多の優秀なる論文の発表に多くの期待を持ち、之等の著者並びに多数の聴講者諸君に敬意を表する次第であります。

29. 11. 6. (以上)